



支援プログラム作成・公表について

令和6年度の障がい福祉サービス等報酬改定において、総合的な支援と事業所が提供する支援の見える化を図るため、5領域を明確した支援の実施に関する計画を作成し、公表することとなりました。

5領域とは、以下の5つを指します。

- 【 健康・生活 】
- 【 運動・感覚 】
- 【 認知・行動 】
- 【 言語・コミュニケーション 】
- 【 人間関係・社会性 】

事業所名

放課後等ディサービスLaLaケセラ

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人（事業所）理念		子どもの育ちや暮らしをサポートし、生活能力の向上を促すとともに将来に向けて円滑な社会生活ができるよう育成に努めます。							
支援方針		個性を尊重し、人と共に生きるなかで豊かな感性と自立心をもって生活できるよう支援します。							
営業時間		10時	30分	から	19時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態（毎回の体温測定 顔色や気分の観察）の把握、維持、改善に努め、基本的な生活スキルの獲得や向上を支援します。 食事・排泄、片づけなど基本的な生活リズムの安定を図り、生活全般における行動面、マナー、ルールを身に付けられるよう支援します。							
	運動・感覚	室内運動（軽めの運動 キッズヨガ）屋外運動（公園でのボール運動 鬼ごっこ競走などの運動）を通じて体力及び技能の向上と四肢の使い方など意識できるよう支援します。 季節のプログラム（行事 制作 クッキング）を実施し、季節感を体感します。 バランス感覚や五感を養えるプログラムを実施し、また特性感覚への対応を支援します。							
	認知・行動	プログラムや集団行動の中で成功体験を積み、達成感を味わうと共に褒める支援にて自己肯定感を育みます。 自己決定、自己選択ができるよう環境設定していき、自主性を引き出せるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	様々な年齢（各学年）の児童と関わりを持ち、グループ活動や遊び中で交流し、コミュニケーションが上手に図れるよう支援します。 様々なコミュニケーションの方法を獲得していき、相手に上手に伝えることが出来るように支援します。（絵カード 文字書き訓練 発音訓練などを実施）							
	人間関係 社会性	個別対話や集団行動の中で自己理解、気持ちのアウトプット、相手の気持ちの察し方など支援し習得していきます。 外出支援での公共機関利用・イベント参加にて社会性を体験し育めるよう支援します。また買い物支援を通じて社会でのルールを身に付けられるよう支援します。 興味があること・自身でできることを伸ばす支援や困り事を人に伝えたり、振り返ったりできるように支援します。							
家族支援		家庭での困り事に対する助言やサポート 延長サービス				移行支援		学校・関係機関との連携	
地域支援・地域連携		協議会参加時の各関係機関との情報共有・相談等 地域スーパーへの買い物				職員の質の向上		毎日のミーティング実施 ケースカンファレンス実施 外部研修への参加 内部研修実施 安全管理・虐待防止の共有	
主な行事等		長期休暇計画（夏休み 冬休み等の外出 プール 海 トレッキング 公共施設・観光名所見学 その他イベント参加） 各季節の行事イベント実施（初詣 花見 夏祭り クリスマス会等）							